

令和8年3月31日

新宿区 宛

団体名 認定NPO法人日本国際親善協会
所在地 新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル10階
代表者氏名 代表理事 伊瀬 洋昭

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第10条の規定により、下記のとおり報告します。

		記
1 収支計算額	収入	517,485 円
	(内助成金)	299,000 円
	支出	517,485 円

2 助成事業

事業名	こころのうた～Song of the heartプロジェクト
実施の日時又は期間	2025年6月～2026年3月
対象者の範囲及び人数	① こころのうた～Songs of the heart 国際交流会 区民※ 47名 こころのうた～Songs of the heart フェスティバル 区民※ 48名 ※区内に住所を有する者、働く者、学ぶ者、活動する者及び活動する団体
事業内容	① こころのうた～Songs of the heart 国際交流会 参加者同士で日本文化を楽しみ、唄を紹介し交流した ② こころのうた～Songs of the heart フェスティバル それぞれの国や民族のふるさとの歌、心のうたを交流した

具 体 的 な 活 動 状 況	1. 運営会議の開催 (HB:ZOOM/ハイブリッド開催) 準備会議 (ZOOM) 6月25日(水)、7月2日(水) 8月7日(木) ①実行委員会(国際交流会開催準備) HB 8月20日(水) ②実行委員会 ZOOM会議 9月8日(月) ③実行委員会(国際交流会開催準備) HB 9月17日(水) ④実行委員会(まとめ会議) HB 準備会議 (ZOOM) 12月25日(木) ⑤実行委員会(フェスティバル準備) HB 1月16日(金) ⑥実行委員会(会場打合せ) HB 2月2日(月) ⑦実行委員会(フェスティバル準備) HB 2月5日(木) ⑧実行委員会(フェスティバル準備) HB 2月25日(水) ⑨実行委員会(まとめ会議) HB 3月11日(水) ⑩実行委員会(実績報告) HB 2. 普及活動 大使館訪問・日本語学校・公共施設訪問 (ベトナム大使館、日本語学校 52箇所) 新宿区多文化共生連絡会 6/13, 9/26/11/28, 1/30. 3/13 3. イベント開催 ① 2025年9月20日 大久保地域センター多目的ホール 10:00~12:00 ② 2026年2月7日 新宿区牛込筆筒区民ホール 13:00~16:00
事 業 の 成 果	① こころのうた～Songs of the heart 国際交流会 中国、ベトナム、タイ、ネパール、ブラジル、コロンビア、日本など7カ国の皆さん47名が交流しました。 茶道体験や書道体験、折り紙、日本の伝統的な遊び(けん玉・かるた)コーナーなどを用意。初めて挑戦する方も多く、真剣に筆を走らせたり、折り紙で思いがけない作品が生まれたり と、あちこちで笑顔があふれていました。 また「故郷の歌」をテーマにした歌の時間では、3組の参加者が 思い出の曲を披露。会場全体が温かい空気に包まれ、心温まる ひとときとなりました。 ②こころのうた～Songs of the heartフェスティバル フェスティバルは、事前審査を通過した出演者と飛び入り参加、プロのゲスト総勢12名がステージに登場。48名が参加。 日本をはじめ、さまざまな国や地域にゆかりのある歌が披露されました。 それぞれの歌には、故郷への想い、家族との思い出、人生の支えとなった経験などが込められており、歌声とともに語られるエピソードに、会場からは温かな拍手と共感の空気が広がりました。 言葉が異なっても、音楽を通して気持ちが伝わり、来場者からは、「こころの唄は国の違いを超えて心にひびくことを感じました」「様々な出身の方と歌を通じてその背景も知ることができた」「多文化、多国籍、多民族の心にひびく歌でした！ジェンダも越えている」といった声が寄せられました。

自己評価表

1 各項目に評価点を付し、「評価の理由」欄には、判断した理由や実績、課題等を記載してください。

【評価点】 4:計画書以上 3:概ね計画書どおり 2:一部計画書どおり 1:ほぼできなかった

評価のポイント	評価点	評価の理由
地域課題や社会的課題に対して成果や効果があったか。	4	多文化共生に向けた活動が盛んな新宿において、ふるさとや心のうたを通じた交流は未だ少なく、お互いに理解し合うコミュニケーションのツールとして多くの期待が寄せられ、手ごたえがあった。
事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。	3	日本語学校や商店街振興会、地域センターなど公的施設などへの普及訪問活動を行い、社会貢献活動として区民の関心を高めることにつながった。
事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。	3	フェスティバルの実施時期が、大学入試の直前であったため、関心を寄せてくれた日本語学校からの参加に繋がらなかったが、事業計画どおり2回のイベントを成功裡に実施できた。
実施にあたり、必要な人員や安全等の確保がなされたか。	3	当会の会員を中心に人員を確保し、滞りなく実施することができた。 安全対策やイベント保険などの安全の確保を図った結果、無事に開催することができた。
経費見積りは適正だったか。資金確保に努めたか。	2	PR-TIMESなどで広報に努め、Syncableなどの活用を図ったが、初めてのケースでもあったため、十分な資金確保ができず、当会からの支出が予想を超えて増える結果となった。
団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。	4	外国の少数民族の子どもたちを支援する活動の経験が反映し、中国の少数民族の皆さんの積極的な参加がえられたことは、予想を超える大きな成果であった。中国のモンゴル族や朝鮮族の心に滲みる素晴らしい歌声が感動を与えた。また障害を乗り越えた演奏、手話を交えた歌唱など、計画を上回るこころ温まる交流ができた。
継続性や発展性が期待できるものとなったか。	4	交流会もフェスティバルのいずれも参加者アンケートから、全員から「よかった」との感想をいただき、90%の方から次回への期待が寄せられた。継続を期待し今後の発展に期待する感想が多かったことから、計画書以上の評価をいただいたと受け止め、不十分であった周知方法等の改善を図りつつ、次年度につなげたい。

(裏面もご記入ください)

2 事業全体を振り返って気づいたこと等をお書きください。

事業を実施したことで見えてきた良かったこと、また課題や改善策。	新宿区多文化共生連絡会などで、当該事業を通じて新宿区他団体との具体的な連携が図られてよかったが、区の後援を得て広報に掲載いただいたものの、多くの区民の皆さんへの周知に課題を残した。利用施設に予め大型ポスターを掲示させていただくことができれば、当該施設利用者の皆様の目にとまり、より広く周知できるのではないかと感じました。
助成金を利用することで、団体や事業にとって有益となったこと。 (例：事業運営での気づきや工夫、解消された課題等)	新宿区の後援や施設の登録をいただくことができ、使用料の減額措置の適用を受けることができた。各地域センターや区の施設にフライヤーを置かせていただくことができた。また、区の広報に当会の活動を紹介いただくことができた。 助成金が契機となり新宿ソダチの区民取材を受けアドバイスや感想を頂戴でき、当会の活動も合わせて区民へ広く紹介いただけることは素晴らしいと思いました。

*参加者アンケートの結果を報告してください。

*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。

収支予算書

令和7年度 日本国際親善協会

費 目		予 算 額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	32,800 円	大久保地区センターホール使用料(6,000円) 牛込筆筈区民ホール使用料 (26,800円)
	②消耗品及び印刷費	215,870 円	フライヤ印刷(計20,236円)ポスター印刷 (9,262円) 横断看板印刷(5,307円)パンフレット印刷(5,410円)複合機印刷 (167,580円) その他消耗品 (8,075円)
	③委託費	0 円	
	④講師謝礼	30,000 円	ゲスト出演者(@10,000円*3名)
	⑤その他謝礼	115,040 円	参加者謝礼 (@3,000円×10) ボランティア謝金 (計80,000円) ボランティア交通費(5,040円)
	⑥交通費	2,254 円	交通費 (計2,254円)
	⑦保険料	13,230 円	イベント保険料 (13,230円)
	⑧その他諸経費	33,876 円	郵送料 (計11,520円) 、ZOOM使用料(22,356円)
	⑨感染症等対策経費	4,415 円	※上限額2万円以内 (20,000)
			マスク439円、消毒液1,208円、嘔吐物処理セット1,978円、 ウェットティッシュ790円
	⑩人件費	0 円	※下記「事業費」の25%以内 (149,161)
	事業費 (①から⑩の合計)		447,485 円
⑪ファンドレイジングに関する経費	0 円	※事業費の5%以内 (22,374)	
⑫助成対象経費 (事業費+⑪)		447,485 円	
⑬助成対象外経費		70,000 円	ビデオ撮影・編集委託費 (35,000円×2) <助成対象外>
事業総額		517,485 円	

収入区分	内 容		予 算 額	積 算 根 拠 (内 訳)
	㊦ 事業収入 (参加料、資料代等)		0 円	
	① 寄附金		10,000 円	
	㊦ 補助金等収入		0 円	
	㊦ 協働推進基金助成金		299,000 円	交付額 324,000円 返還額 25,000円
	㊦ 団体負担金		208,485 円	
	収入総額		517,485 円	



令和7年度新宿区協働推進基金助成事業



All Are Welcome Social

International guests
Japan lovers
Anyone looking to make new friends
Let's enjoy Japanese culture together!
We'll speak in simple Japanese, so please feel free to join us.

うた ゲーム にほんぶんが

だれでも さんがOK!

たのしい交流会 入場無料

がいこくからきた人・日本が好きな人・日本語をべんきょうしている人
外国の方と友達になりたい。おしゃべりしたい日本人
にほんぶんがをいっしょにたのしみましょう!
やさしいにほんごでなします。あんしんしてきてください。



うた

Singing



書道 (しょうどう)

Shodō



茶道 (さどう)

Sadō



おりがみ

ORIGAMI

ばしよ: 新宿区大久保地域センター

多目的ホール (新宿区大久保2-12-7)

ひにち: 2025.9.20 (どうようび)

じかん: 13:30 pm ~ 15:30 pm

★ややくは、メール、facebook、LINE などで OK!

メール: shinjuku_event@jifa.org



LINE



LINEで ともだち



主催:
認定NPO法人
日本国際親善協会
こころのうた実行委員会



後援: 新宿区

Supported by Shinjuku City

9月20日(土)、大久保地域センターにて開催した国際交流会イベントが無事に終了しました! 新宿区、大久保地域センター、新大久保商店街振興組合、高齢者総合相談センター様などのご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

今回の交流会は、来年2月7日に予定されている『こころのうた~Song of the heart』フェスティバルの前段階として位置付けられたイベントです。新宿に住む人だけでなく、新宿を訪れる人々、国籍を問わず10代から70代までの幅広い世代の、8カ国50人近い外国人と日本人の皆さまにご参加いただき交流を深めることができました。

Average(ふつう) Poor (わるい)

0% 0%

Good (よい)

9%

Very Good (満足)

36%

Excellent (大変満足)

55%

たのしい交流会
イベント満足度

■ Excellent (大変満足)

■ Very Good (満足)

■ Good (よい)

■ Average(ふつう)

■ Poor (わるい)

イベントで良かったもの

うた 55%

伝統的な遊び 59%

折り紙 64%

茶道 64%

書道 77%

0% 20% 40% 60% 80% 100%



けん玉



折り鶴



おりがみ



作品とともに

令和7年度新宿区協働推進基金助成事業



All Are Welcome Social

International guests
Japan lovers
Anyone looking to make new friends
Let's enjoy Japanese culture
together!
We'll speak in simple Japanese, so
please feel free to join us.

5

うた ゲーム にほんぶんが だれでも さんがOK! たのしい交流会

こうりゅうかい



うた

Singing



書道 (しどう)

Shodō



茶道 (さど)

Sadō



おりがみ

ORIGAMI

きょう たいけん 今日体験すること

Things to Experience Today

SHO DO

書道 (しどう)

Try Japanese Calligraphy

書道体験

日本国際親善協会



Feel Free to Join!

しょう じゅうじ
書道 ⇨ 習字

きれいな字

しゅうちゅうりよく

集中力

ただ しせい
正しい姿勢

れいぎさほう

礼儀作法



茶道 (さ どう・ちゃどう)



SA DO (CHA DO)



茶道

きせつ かん
季節を感じる

しゅうちゅうりよく

集中力

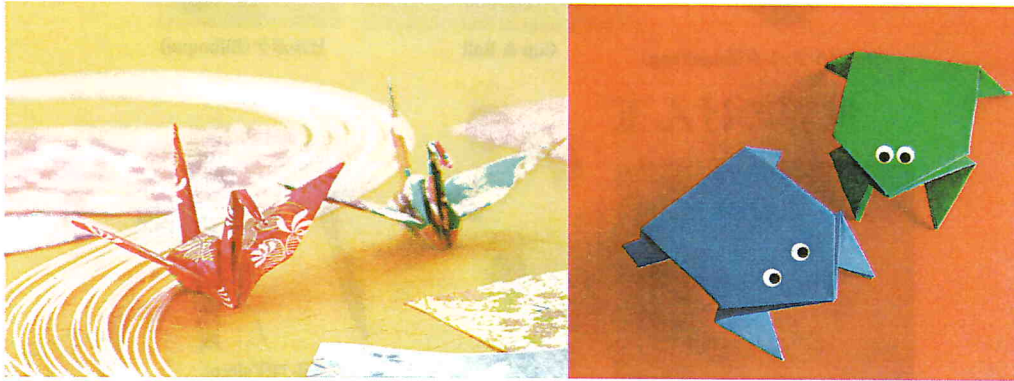
ただ しせい
正しい姿勢

れいぎさほう

礼儀作法



おりがみ (ORIGAMI)



おりがみ (ORIGAMI)

しゅうちゅうりよく
集中力

ゆびさき ぎじゅつ
指先の技術



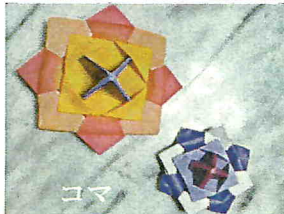
おりがみ であそぼう



宝袋



テディベア



コマ



ちょうちょ



おしゃべりからす

お づる はげ 折り鶴 に励ましのメッセージ!



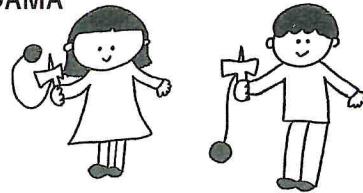
日本の伝統的な遊び

(Traditional Japanese games)

けん玉^{だま}



KEN-DAMA



クーゲルファンク(Kugelfang)



Cup & Ball



ビルボケ(Bilboque)

世界のけん玉



バレロ(Valero)



おてだま OTEDAMA



うた UTA



らいねん がつ
来年2月のイベント
お知らせ！

We'll let you know about the event next February!

「こころのた Song of the heart」
フェスティバル！」

歌いたい方を募集します！

うた かた ほしゅう



令和7年度新宿区協働推進基金助成事業

こころのうた
～Song of the Heart

イベントのお知らせ&
出演者募集！

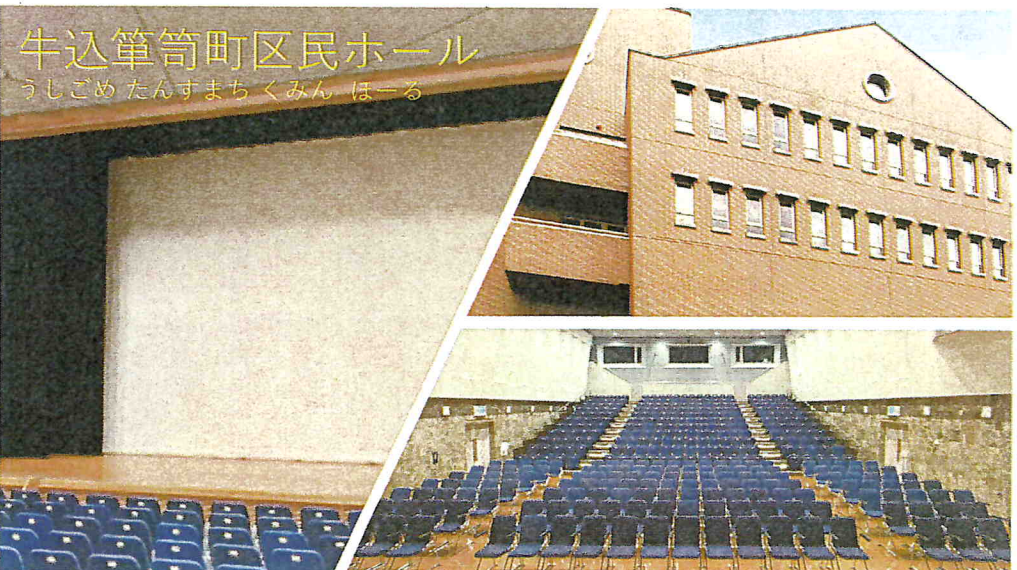


On February 7, 2026, people who live in or visit Shinjuku will gather to sing "songs of the heart" and "songs of home" from around the world.

Anyone who loves music and is interested in international exchange is welcome! Why not join us and enjoy a moment learning about culture through song and fostering connections between people? Enjoy songs from all over the world!

2026年2月7日、新宿に住む人や新宿を訪れる人々が集い、世界各国の「心の歌」や「ふるさとの歌」を歌い合うフェスティバルを開催します。

音楽が好きな方、国際交流に関心のある方ならどなたでも大歓迎！歌を通じて、文化を知り、人々つながる時間を一緒に通しませんか？各国の歌をお楽しみに！また、ステージで歌ってみたい方も募集中です。



歌う曲名と歌声を録音したファイルを送ってください。

選考を行い、こころのうたフェスティバルへの出場者を決定します。(20名)

あなたの声が世界と日本をつなぐ架け橋になります。ぜひご参加ください！(※2月のフェスティバル出場に決定した方は参加費1,000円お支払いいただきます / 当日は記念品授与あり)

出場応募の締め切り：2025.12.31まで
= deadline

Song of the Heart Festival

Location: Ushigome Tansu Kumin

Hall, Shinjuku Ward (15 Ushigome

Admission: Free Tansu Mach,
Shinjyuku-ku)

Date: Saturday, February 7, 2026

Time: 14:00 PM - 16:00 PM

We look forward to meeting you all!

『こころのうたフェスティバル』

場所：新宿区 牛込竈間区民ホール

(新宿区竈間15番地)

入場無料(予約不要)

日にち：2026.2.7(土)

時間：14:00 pm～16:00 pm

ご来場お待ちしております！



ACCESS

歌唱をご希望の方★Entry⇒Mail、facebook、LINE

E-Mail：shinjuku_event@jifa.org



主催：
認定NPO法人
日本国際親善協会
こころのうた実行委員会



HP



facebook



LINEでともだち

後援：新宿区

Supported by Shinjuku City



All Are Welcome Social

International guests

Japan lovers

Anyone looking to make new friends

Let's enjoy Japanese culture together!

We'll speak in simple Japanese, so please feel free to join us.

うた ゲーム にほんぶんか

だれでも さんがOK!

たのしい交流会 にゅうじょうむりょう 入場無料
こうりゅうかい

がいこく からきた人・日本がすきな人・日本語をべんきょうしている人
外国の方と友達になりたい、おしゃべりしたい日本人

にほんぶんか を いっしょに たのしみましょう!

やさしい にほんご で はなします。あんしん して きてください😊



うた

Singing



書道 (しどう)

Shodō



茶道 (さどう)

Sadō



おりがみ

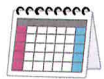
ORIGAMI



しんじゅくく おおくぼ ちいき センター
ばしょ：新宿区大久保地域センター

た もく て き ほーる
多目的ホール

(新宿区大久保2-12-7)



ひにち：2025.9.20 (どようび)



じかん：13:30 pm ~ 15:30 pm



Google Maps

★よくは、メール、facebook、LINE などで OK !

✉ メール：shinjuku_event@jifa.org



LINEで ともだち



主催：
認定NPO法人
日本国際親善協会
こころのうた実行委員会



HP



facebook

後援：新宿区

Supported by Shinjuku City

こころのうた ~Song of the Heart



イベントのお知らせ & 出演者募集！

On February 7, 2026, people who live in or visit Shinjuku will gather to sing "songs of the heart" and "songs of home" from around the world.

Anyone who loves music and is interested in international exchange is welcome! Why not join us and enjoy a moment learning about culture through song and fostering connections between people? Enjoy songs from all over the world!

If you'd like to sing on stage, please send us the title of the song you'd like to perform and a file of your singing. ※

First, we will conduct a selection process to decide the finalists.

Your singing voice will become a bridge connecting the world and Japan. Please join us!

(※Those who will be singing on stage at the festival in February next year will be required to pay a participation fee of 1,000 yen.

A commemorative gift will be presented on the day.)

Entry Deadline : 2025.12.31

Song of the Heart Festival

Location: Ushigome Tansu Kumin Hall, Shinjuku Ward (15 Ushigome Tansu Mach, Shinjuku-ku)

Admission: Free

Date: Saturday, February 7, 2026

Time: 14:00 PM - 16:00 PM

We look forward to meeting you all!

2026年2月7日、新宿に住む人や新宿を訪れる人々が集い、世界各国の「心の歌」や「ふるさとの歌」を歌い合うフェスティバルを開催します。

音楽が好きな方、国際交流に関心のある方ならどなたでも大歓迎！歌を通じて、文化を知り、人とつながる時間を一緒に過ごしませんか？各国の歌をお楽しみに！

また、ステージで歌ってみたい方も募集中です。

歌う曲名と歌声を録音したファイルを送ってください。選考を行い、こころのうたフェスティバルへの出場者を決定します。

あなたの声が世界と日本をつなぐ架け橋になります。ぜひご参加ください！（※2月のフェスティバル出場に決定した方は参加費1,000円お支払いいただきます / 当日は記念品授与あり）

出場応募の締め切り：2025.12.31まで

『こころのうたフェスティバル』

場所：新宿区 牛込筆筒区民ホール
(新宿区筆筒町15番地)

入場無料 (予約不要)

日にち：2026.2.7 (土)

時間：14:00 pm ~ 16:00 pm

ご来場お待ちしております！



ACCESS

歌唱をご希望の方★Entry ⇨ Mail、facebook、LINE

E-Mail : shinjuku_event@jifa.org



LINEで ともだち



主催：
認定NPO法人
日本国際親善協会
こころのうた実行委員会



HP



facebook

後援：新宿区

Supported by Shinjuku City

こころのうた ～Song of the Heart フェスティバル アンケート結果 2026/2/7

イベント満足度	
Excellent(さいこう)	17
Very Good (とてもよかった！)	12
Good (よかった)	8
Average(まあまあ)	0
Poor (う～ん)	0

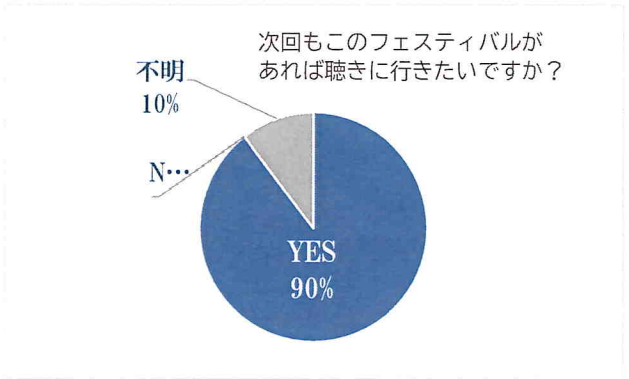
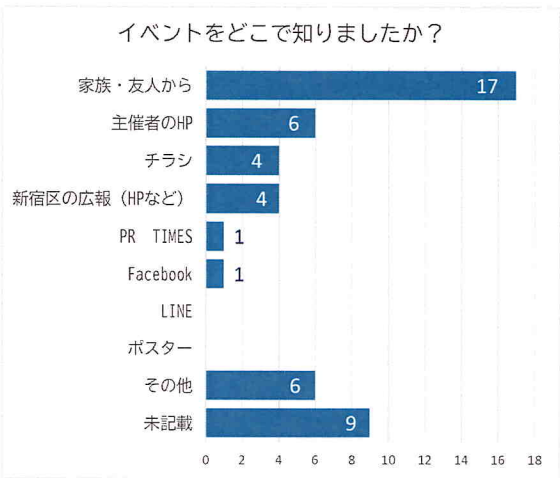
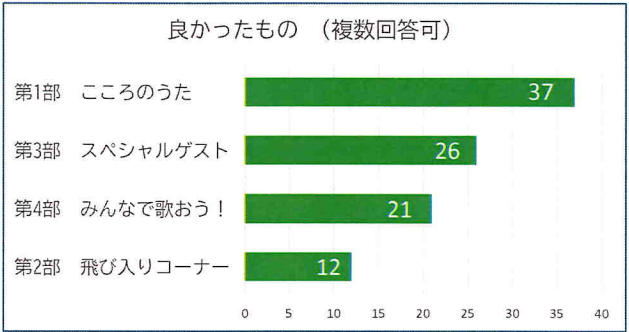
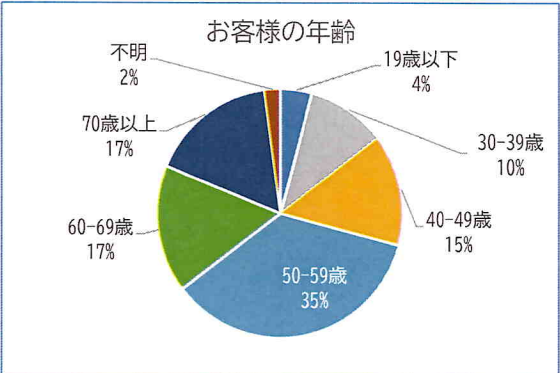
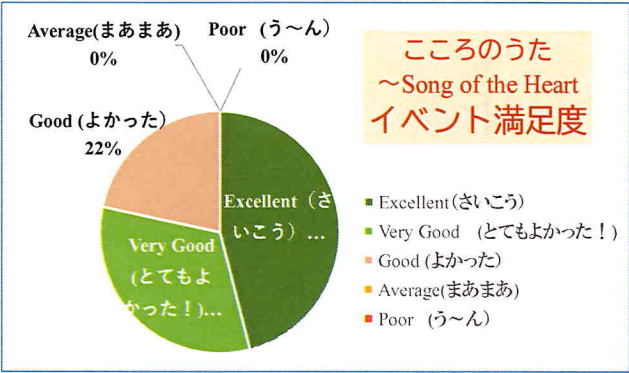
よかったもの(複数回答可)	
第2部 飛び入りコーナー	12
第4部 みんなで歌おう！	21
第3部 スペシャルゲスト	26
第1部 こころのうた	37

お客様の年齢	
年齢	人数
19歳以下	2
20-29歳	
30-39歳	5
40-49歳	7
50-59歳	17
60-69歳	8
70歳以上	8
不明	1
	48

イベントをどこで知ったか	
未記載	9
その他	6
ポスター	
LINE	
Facebook	1
PR TIMES	1
新宿区の広報(HPなど)	4
チラシ	4
主催者のHP	6
家族・友人から	17
	48

リピート度 (次回もこのフェスティバルがあれば聴きに行きたいですか？)

YES	43
NO	0
不明	5
	48



こころのうた～Song of the Heart イベントの満足度の理由
2026.2.7

歌が良い

想いがあふれていた。歌の力ありますね。司会・インタビューはもう少しゆっくり。車いすの方、その他素晴らしいかったです。ニュースとは違う国や人のくらしを感じます。話すと良いかもしれません。

こころのうたあたたかいです

心にひびく歌が心身に滲みる

文化交流ができて良かったです

国内外の出演者の皆さん、一人ひとりにストーリーがあって素晴らしい企画だと思いました。もっと広く周知してたくさんの人に来て頂きたいですね。政治と民間交流は違うんだと改めて感じました。

会場が一体となって良かったと思います。歌詞の字幕が欲しかったです(日本語訳)。飛び入りコーナーの説明が事前にあればもう少し参加しやすかったとも思いました。

一般の方の歌、どひ入り、ゲストと盛りたくさんの内容でよかった。若い方が物おじせず堂々と歌うのかすごいと思いました。鮮やかな衣装も良かった。

12才の子、中国の子ともかわいい、かんこくの民ようもいいうた。

普段聴く事のできない外国の民謡等が聴けて良かったです

10年程前まで「発展途上国の女性の地位向上」の視点で、ラオスとブータンなど東南アジアで活躍していたので、当時を思い出し、歌の交流は心に直接ひびくので、たいへん良い手段だと思い感心しました。

お一人ひとりの歌や演奏と語りを聴き、新たな経験となりました。自分の得意な分野を磨きます。

多文化、多国籍、多民族の心にひびく歌でした！ジェンダも越えている!!

遠くからの参加者/若い外国にルーツを持つ方々の参加/母国語での歌すばらしく感じました。”ふるさと”を唄えたのはすばらしかった。

様々な出身の方と歌を通じてその背景も知ることができた。

いろんな国の人と同じ舞台に立つと一気に距離が縮まって仲良くなれたことがとてもうれしかったです。

諸外国の歌が聴けたこと

歌声が素晴らしい

やっぱり歌(音楽)は心を洗ってくれると感じました。小野智洋さんのピアノと歌に自然と涙して聴いて良かったです。どの国というわけでもなく民族のメロディーが好きです。オットホンバイラさんの歌声は心地よいです。

国際交流は必要だと感じているから

楽しい!!

いろんな国、民族の唄が聴けて良かったです

お客さんが少なかったが、皆で唄う等はいい雰囲気でした

こころの唄は国の違いを超えて心にひびくことを感じました。若い人たちに肌で感じてもらえると良いと思いました。

心の歌みんなで一緒に聴けてうれしかったです

とてもあたたかいイベントに参加させていただき、嬉しかったです。みんな唄がめちゃめちゃうまい!! 精進します。今度はみんなでうたいたいです。

みんな楽しかったと言ってくれた!!それが一番!!

色々な人とつながれて楽しかった

様々な国の人たちと触れ合い、お互いの文化など理解を深めることができた

出演された皆様がとっても楽しんで下さり会場内の雰囲気もとてもアットホームでした

れいわ ねんど しんじゅく く きょうどう すいしん ききん じょせい じぎょう
令和7年度新宿区協働推進基金助成事業

こころのうた Song of the Heart

にほんじん がいこくじん
日本人と外国人が
心の歌・ふるさとの歌を歌うフェスティバル



2026年2月7日（土）13:00-
@新宿区牛込筆筈区民ホール 入場料無料



主催：認定NPO法人日本国際親善協会 こころのうた実行委員会
後援：新宿区

■ ごあいさつ ■



こころのうた実行委員会
認定NPO法人日本国際親善協会
理事長 伊瀬 洋昭
い せ ひろあき

本日は、「こころのうた Song of the Heart」にお運びいただきありがとうございます。こころのうた、ふるさとのうたをご披露いただける皆様に心より感謝申し上げます。開催にあたっては、新宿区協働推進基金の助成及びご後援をいただきました新宿区にお礼申し上げます。

認定NPO法人日本国際親善協会（JIFA）では四半世紀にわたり、アジアを中心に未来を担うこどもたちへの支援活動をつづけてきました。

「うた」には国境はありません。「うた」は人の心のつながりを育むことを、各国の方との交流を通じて肌で感じてまいりました。

新宿の地で、ふるさとの歌、思い出の歌、それぞれの人生に寄り添ってきた一曲を分かち合うことには、大きな意味があると私たちは考えています。一曲一曲に込められた想いは、言葉の壁を越えて心に届きます。

本日はこの「こころのうた」を通して、お互いを知り、感じ合い、新たなつながりが生まれるひとときとなれば幸いです

世界の“こころのうた”が新宿に集う

日本人と外国人が、「心の歌」「ふるさとの歌」を歌い合うフェスティバル

「こころのうた ～Song of the Heart」は、音楽を通じて人と人が自然につながることを目的とした国際交流イベントです。日本人と外国人が、それぞれの「心の歌」「ふるさとの歌」を分かち合い、世代や国籍、言葉の壁を越えて心を通わせる場として開催します。

多様な国籍・文化を持つ人々が暮らす新宿区では、外国人住民と日本人住民との交流の機会が少なく、孤立や相互理解の不足が課題となっています。とくに「話しかけるきっかけがない」「交流する場がない」という声は、世代や国籍を問わず多く聞かれます。

本フェスティバルは、「お祭り」「音楽」という誰もが参加しやすい形を通じて、子どもから高齢者まで、外国人と日本人が自然に出会い、互いの文化や背景を知るきっかけを生み出すことを目指しています。

世界各国の大切な歌に耳を傾け、歌声を共有することで、新たなつながりや友情が生まれることを願っています。

The Songs of the World's Hearts Gather in Shinjuku

A festival where Japanese and non-Japanese people sing the songs of their homelands together.

“Songs of the Heart ～Song of the Heart” is an international cultural exchange event that aims to naturally connect people through music. Japanese and non-Japanese participants share their own “songs of the heart” and “songs from home,” creating a space where hearts can connect beyond generations, nationalities, and language barriers.

In Shinjuku, where people of many nationalities and cultures live side by side, opportunities for interaction between foreign residents and Japanese residents remain limited. Issues such as isolation and a lack of mutual understanding have been noted. In particular, many people—regardless of age or nationality—say that they have “no opportunity to start a conversation” or “no place to interact.” Through the universally accessible forms of “festivals” and “music,” this event aims to create opportunities for children, seniors, Japanese, and non-Japanese residents alike to meet naturally and learn about one another’s cultures and backgrounds.

By listening to and sharing treasured songs from around the world, we hope to inspire new connections and friendships to grow.



第1部 「こころのうた」

1.



『からたちの花』

作詞：北原白秋 作曲：山田耕筰

年末のイベントのためにふたりで集まって練習していたのですが、その度に「この曲って、本当に日本人の心の歌だね」と話していました。今回のイベントを知った新崎さんが「この曲にぴったりのイベントがあるよ!」と声をかけてくださって、出演することになりました。ご縁に感謝しながら、心を込めて演奏したいと思います。



『上を向いて歩こう』

(リコーダーアンサンブル)

作詞：永六輔 作曲：中村八大

この曲は、戦後の高度経済成長期に多くの日本人に希望を与え、世界的にもヒットした曲です。あの頃と比べると、世界がボーダーレスになり先の見通せない時代になりました。こんな時代に、国籍は関係なく、一緒に上を向いて歩いていきたいと思います。

おさなが あつこ

長永 篤子

(写真上)

歌・リコーダー

日本出身 小さい頃から歌が好きで、ピアニストの新崎さんとも合唱団で知り合いました。私にとってとても大切なお友達です。昨年からふたりでいくつかのイベントに参加させていただいて、年末に演奏した曲目が、このイベントにぴったりだったので応募させていただきました。

しん ざき

新崎 めぐみ

(写真下)

ピアノ・リコーダー

日本出身 長永さんとは合唱で知り合いました。昨年からは、リコーダーのアンサンブルやピアノと歌で音楽を楽しんでいます。大切な音楽仲間であり友人です。

2.

『サーチライト』

作詞 作曲：玉置 浩二



おの ともひろ

小野 智洋

日本

8年前の脳出血の後遺症で右半身麻痺の為、左手のピアニストをやっています。

入院中、口も麻痺して上手く言葉が出なく、言語聴覚士と毎日リハビリで唄った曲が玉置浩二の「サーチライト」です♪

3.



『すずめ～feat. 十明』

とあか

作詞作曲：RADWIMPS (野田洋次郎)

昔から歌が大好きでよくJPOPを聴いています！

最近はBaby monster っていうKPOPグループにもハマっています。

小学校ではピアノとフラダンスを少々やってました^_^

よろしくお願いします！

そう かりん

宋 佳林

日本/中国 2011年生まれの中学2年生

4. 『Đi Giữa Trời Rực Rỡ』 作詞作曲：Ngô Lan Hương（ゴー・ラン・フオン）
（輝く空の下を歩く）



この曲「Đi Giữa Trời Rực Rỡ」は、今の私の気持ちとよく合っていると思います。

20歳になり、新しい世界に一步步進みながら、自分を少しずつ変えて成長したいと思っています。その気持ちが、この曲のメッセージと重なっていると感じました。

ヴォ・クイン・ゴック

ベトナム 北中部のハティン省出身。20歳。

地元ハティンの高校の夏休みの時に1ヶ月間日本語学校の宿舎に泊まりながら日本語を勉強しました。昨年の6月、留学生として来日し、日本語についてもっと上達するためと、日本の文化をより広く深く学ぶために日本語学校に通っています。

5. 『いのちの理由』 作詞 作曲：さだまさし



ラブサポーター
じゅんこ
淳子

日本 北海道出身

北海道 小樽市 1970年生まれ。厳しい家庭環境から違法薬物に依存、生きている意味がわからなくて何度も自〇を図ったけど死ねず、社会と神様を恨んでいたら2回も癌になり、息子の「長生きしてね」の一言に生き直しを覚悟。

7年前、半生が舞台化された際のエンディングに流した大好きな曲です。

ボランティアで刑事施設から出所して来た女性の社会復帰の為の一時施設の寮母をしています。どんなにやさぐれていても更生して、当事者から支援者になれるモデルケースとして走り続けます！

6. 『琵琶湖周航の歌』 作詞：小口太郎 作曲：吉田千秋



ふちだ ひでひこ
淵田 英彦

琵琶湖周航の歌は、1917年 第三高等学校（現在の京都大学）ボート部恒例の琵琶湖周航の途中、部員の小口太郎による詞を「ひつじぐさ」（吉田千秋作）の曲に乗せて歌われ、その後、三高の寮歌・学生歌として伝えられている曲です。

大学に入ってからには続けていませんでしたが、高校時代には暗くなるまで湖上で漕艇の練習に精を出していました。この曲を歌うと、その頃の様子が思い出されます。

日本 滋賀県出身。65歳。高校時代は漕艇部に所属し、琵琶湖でボートを漕いでいました。社会人となってからは東京都に在住。2007年にコーラスグループに入ってから、歌うことを続けています。



7.



あん
安 ジイ

中国 小学6年生（12歳）

『听我说谢谢你』

作詞：周兵 作曲：李凯稠

（私からあなたにありがとうを）

故郷にいるおばあちゃんとおじいさんに、今まで大事にしてくれて
“ありがとう”という気持ちを込めて歌います。

もうすぐ小学校を卒業しますので、いい思い出になればと思っています。
今日は得意の手話をしながら歌います！

8.



パク キョンホン
朴 京紅

中国 朝鮮族（民族）※韓国語ができる民族

『セタリョン』（韓国民謡）

こちらの民謡は小さい頃から家族でよく聞いていた曲です。
美しい故郷の良い思い出、そして姉妹、天国にいるお母さんを
思い出して歌います。

～ 休憩（10分）～

第2部 飛び入りコーナー♪

歌ってみたい方、ぜひステージで歌ってみませんか？

希望者多数の場合は抽選方式

（ご来場時受付でお申し込みください/締め切り13:00まで）

Open Mic Corner♪

Would you like to sing on stage?

If you'd like to participate, please feel free to join us!

If there are many applicants, participants will be selected by
lottery. (Please sign up at the reception desk upon
arrival./Deadline: 1:00 p.m.)





第3部 スペシャルゲスト Special guest



『Tenger eej min urshuu (テンゲル エージ ミン ウルシェ)』

モンゴル語で「天なる母よ、私をお赦してください」という意味です。

『南部牛追歌 (なんぶうしおいうた)』

岩手県北部(旧・南部藩)に古くから伝わる作業歌で、牛を連れて山野を歩く「牛方(うしかた)」が、牛をなだめ、励まし、自分の心を保つために歌った歌です。歌う相手は、人であり、牛であり、そして自然そのもの。とても原始的で、深い精神性をもっています。天を母と仰ぎ赦しを願うモンゴルの歌と、牛をなだめながら山野を歩いた日本の労働歌。その根底には、人が自然の一部として生きるという共通の精神性があります。

オットホンバイラ

内モンゴル自治区・バインノール草原生まれ。オルティーンドー(モンゴル民謡)歌手。

日本民謡泥谷流名取、雅号・泥谷馬伊羅(ひじやばいら)。

1994年来日。國學院大学卒業。1996年から2000年まで、姫神のボーカルを務め、国内外のコンサートツアーやアルバム制作に参加。1996年には「吉永小百合 旅物語」イベントにゲスト出演。1999年、アサヒビール芸術文化財団主催「在日外国人留学生演奏会」にてアサヒビール音楽賞を受賞。2001年、国際文化交流事業財団主催「在日留学生音楽コンクール」優秀賞受賞。以降、日本民謡・郷土民謡の分野でも高く評価され、2004年「民謡民舞全九州春季大会」優秀賞、2013年「全国民謡大会」ヤングの部優勝を果たす。2004年、初のソロアルバム『草原の風』、2016年に『草原の誘い』をリリース。



『友達の詩／中村中』

トランスジェンダーとして活動されている歌手・中村中(あたる)さんが、2006年にご自身の作詞作曲で発表された楽曲。片想いをした同性の相手への苦しい胸の内在が綴られており、私自身も一語一句、自分のことのように感じてしまう一曲です。

『また逢う日まで／尾崎紀世彦』

作詞・阿久悠、作曲・筒美京平という昭和歌謡史に残る名コンビによる名曲。尾崎紀世彦さんの豊かな歌声とともに、別れを選んだ二人がそれぞれ新しい道へ進む姿を描いた、当時としては非常に斬新な世界観の楽曲です。

Sasammy/ササミー

オネエジャズシンガー／ウェディング司会

幼少期より音楽に親しみ、大学進学と同時にヴォーカルを本格的に学ぶ。2007年よりプロとして活動開始。

ジャズを軸に、ポップス、ディスコ、ラテン、昭和歌謡まで自在に行き来するスタイルと、観客を巻き込むトークとステージングに定評がある。2009～2017年はエンタテインメントショーバンド「Lily Babies」のヴォーカルとして月20本以上のステージを経験。その後ジャズシンガーとしてソロ・バンドで活動し、年間200本を超えるステージに立つ。神楽坂のジャズライブバーでの運営・歌手活動を経て、現在はジャズシンガーとして歌う傍ら、ウェディング司会として多くの幸せな瞬間とともに盛り上げている。



『美丽的草原我的家』 『祈りの唄』

現在、天災や人災が絶えず、誰もが平和と安寧を願っています。もし、すべての人に慈悲の心と思いやりがあれば、この世界はきっと素晴らしいものになるはずで。

この曲は、私自身が数千曲ものモンゴル民謡の中から選び出し現在広めているものです。そこには二つの思いがあります。一つはモンゴルの伝統音楽を普及させること、もう一つは人々に善行を勧める(善い心を持つよう促す)ことです。

敖徳波樂/オドバル

内モンゴル・ホルチン地方出身。蒙古族。ジリム芸術学校、中央音楽学院(北京)にて歌唱を学び、金鉄林教授、黎信昌教授らに師事。内モンゴル軍区文芸工作団、内モンゴル民族劇団(現・内モンゴル芸術劇院)など一流の音楽団体にソリスト歌手を歴任し、民謡の旋律を基にした歌芝居では主要な役を務めた。中国中央テレビ、内モンゴルテレビ・ラジオ局などへの出演も多く、都市部のみならず草原地帯の遊牧民からも広く支持を受ける。全軍文芸コンクールにて歌唱賞、音楽演技賞を受賞。1992年来日。抒情性あふれる歌声は各地で高い評価を得ている。



最終章「みんなでうたおう」

ふるさと

FU RU SA TO

作詞者：高野辰之
作曲者：岡野貞一

Home Village

1

うさぎ^お 追いし^{やま} かの山
USAGI OISHI KANO YAMA



The mountain where I chased the rabbits,

こぶな^{かわ} 小鮒 つりし かの川
KOBUNA TSURISHI KANO KAWA

The river where I caught the tiny carps.

ゆめ^{いま} 夢は 今も めぐりて
YUMEWA IMAMO MEGURITE



The dreams of these still linger with me,

わす 忘れ がたき ふるさと
WASURE GATAKI FURU SATO

My home village I can never forget.

2

いかに^{ちちはは} います 父母
IKANI IMASU CHICHI-HAHA



How are my parents living now?

つつが^{とも} なしや 友がき
TSU TSUGA NASHIYA TOMOGAKI

Are my old friends free from troubles?

あめ^{かぜ} 雨に 風に つけても
AME NI KAZE NI TSU KE TEMO



With ever y rain, with ever y wind,

おも 思い いずる ふるさと
OMOI IZURU FURUSATO

I cannot help but think of my home village.

3

こころざしを^は 果たして
KOKORO ZASHI O HATASHI TE

After I fulfill my aspiration,

いつの^ひ 日にか^{かえ} 帰らん
ITSUNO HINIK KAERAN



Someday I must return home.

やま^{あお} 山は 青き ふるさと
YAMAWA AOKI FURUSATO

The mountains are blue in my home village,

みず^{きよ} 水は 清き ふるさと
MIZUWA KIYOKI FURUSATO



The waters are pure in my home village.



主催：認定NP0法人日本国際親善協会 しゅざい にんてい ほうじん にほん こくさいしんぜんきょうかい 心のうた実行委員会 じっこう いいん かい

お問い合わせ：03-5989-0814 / shinjuku_event@jifa.org といあわ

〒160-0023 新宿区西新宿1-19-8 しんじゅくく にししんじゅく 新東京ビル10階 しんとうきょう かい



HP



facebook

こころのうた Song of the Heart

2026年2月7日、新宿に住む人や新宿を訪れる人々が集い、世界各国の「心の歌」や「ふるさとの歌」を歌い合うフェスティバルを開催します。歌唱(音源)審査を通過した20名が歌います。

音楽が好きな方、国際交流に関心のある方のご来場お待ちしております！

ステージで歌いたい方も募集しています！

主催：日本国際親善協会 こころのうた実行委員会
後援：新宿区

場所：牛込筆筥区民ホール

(新宿区筆筥町15番地)

日時：2026.2.7(土)

12:30開場 / 13:00開演～16:00



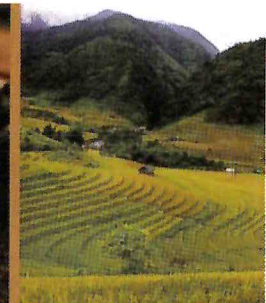
access



楽しい思い出の曲
"Songs of joyful memories"



幼い頃よく聴いていた曲
"Tunes from childhood days"



ふるさとを思い出す曲
"Melodies that bring us home"



歌唱ご希望の方

We're looking for people
who want to sing on stage!



LINEで申し込み

メールやLINEからお申し込みができます(FAXも可)

Please record your song and attach the audio file.

You can submit your entry via email or LINE. (Fax OK!)

歌唱／入場 無料

Shinjuku_event@jifa.org



メールで申込

ふるさとのうた、こころのうたを
大きなホールで唄ってみませんか？
聴きにいらっやいませんか？(予約不要)

牛込筆筥区民ホール



交通アクセス

地下鉄：都営地下鉄大江戸線
「牛込神楽坂」A1出口より徒歩0分
：東京メトロ東西線
「神楽坂」2番出口より徒歩10分

都バス：

飯62 小滝橋車庫前～都営飯田橋駅
飯橋63 小滝橋車庫前～新橋駅「牛込北町」下車



EDUCATIONAL SUPPORT

認定NP0法人日本国際親善協会
こころのうた実行委員会

お問い合わせ：TEL&FAX 03-5989-0814

Shinjuku_event@jifa.org

新宿区西新宿1-19-8 新東京ビル10F